# 文教厚生委員会資料

教　育　委　員　会
令和３年１月１４日

**報告事項**

１．少人数学級編制に係る国制度改正への対応について　……　Ｐ　１

２．令和４年度島根県公立高等学校入学者選抜（令和３年度実施）における推薦選抜等での選抜方法等について　……　Ｐ　５

３．令和３年３月高校卒業予定者の就職内定状況について（１１月末）　……　Ｐ　６

４．中高生の全国スポーツ大会での活躍について　……　Ｐ　７

文教厚生委員会資料
令和３年１月 14 日
学校企画課

# 少人数学級編制に係る国制度改正への対応

## １．学級編制基準

### ⑴　現行基準

（単位：人）

| 区分 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国(A) | 35 | 40<br>(35) | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 県(B) | 30 | 30 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| B－A | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 | ▲5 |

注）小学２年は、国加配措置により 35 人学級編制を実現（以下 35 人学級として扱う）

### ⑵　Ｒ元年度県見直し方針

**①学年別の基準**

（単位：人）

| | 区分 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ | 県加配㋐ | 県加配㋑ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ～R2 | 30 | 30 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 0 | 0 |
| | R3 | 30 | 32 | 35 | 35 | 38 | 38 | 35 | 35 | 38 | 10 | 15 |
| | R4 | 30 | 32 | 38 | 38 | 38 | 38 | 35 | 38 | 38 | 20 | 30 |
| 完成形 | R5～ | 30 | 32 | 38 | 38 | 38 | 38 | 35 | 38 | 38 | 40 | 0 |

注）塗りつぶし：現行基準から変更となる学年。以下同じ。

**②加配等の考え方**

㋐課題解決　：課題解決に資する教員を加配
㋑影響緩和　：教員数が複数人減となる学校に加配。Ｒ４年度までの措置
㋒弾力的運用：小１、２、中１は学級分割を行わないことも可

### ⑶　国制度改正（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（以下「標準法」という。）の改正）

**小学校の学級編制の基準を令和３年度から学年ごとに見直し、令和７年度に全学年を３５人にする方針**

（単位：人）

| | 区分 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ | 国加配 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ～R2 | 35 | 40<br>(35) | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | |
| | R3 | 35 | 35 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 小２国加配からの移行 |
| | R4 | 35 | 35 | **35** | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 不明 |
| | R5 | 35 | 35 | **35** | **35** | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 不明 |
| | R6 | 35 | 35 | **35** | **35** | **35** | 40 | 40 | 40 | 40 | 不明 |
| 完成形 | R7～ | 35 | 35 | **35** | **35** | **35** | **35** | 40 | 40 | 40 | 不明 |

注）太字は、新たに国負担となる学年。

## ２．県変更方針

国制度改正により、小学校の学級編制基準は学年進行で３５人に引き下げられるため、県の方針もこれを踏まえて変更する

### ⑴　学年別の学級編制基準

・Ｒ元年度の県見直し方針と今回の国制度改正を単純に重ねると、小４～６年は数年後に国制度改正により再び３５人学級となり、一貫性を欠く

（単位：人）

| 区分 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ～R2 | 30 | 30 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| R3 | 30 | 32 | 35 | 35 | 38 | 38 | 35 | 35 | 38 |
| R4 | 30 | 32 | **35** | 38 | 38 | 38 | 35 | 38 | 38 |
| R5 | 30 | 32 | **35** | **35** | 38 | 38 | 35 | 38 | 38 |
| R6 | 30 | 32 | **35** | **35** | **35** | 38 | 35 | 38 | 38 |
| 完成形 R7～ | 30 | 32 | **35** | **35** | **35** | **35** | 35 | 38 | 38 |

・数年間のうちに３５人→３８人→３５人となる学年は、Ｒ３年度から国制度改正後の基準（＝現行の県基準）とする

変更後の学級編制基準

（単位：人）

| 区分 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ～R2 | 30 | 30 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| R3 | 30 | 32 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 | 38 |
| R4 | 30 | 32 | **35** | 35 | 35 | 35 | 35 | 38 | 38 |
| R5 | 30 | 32 | **35** | **35** | 35 | 35 | 35 | 38 | 38 |
| R6 | 30 | 32 | **35** | **35** | **35** | 35 | 35 | 38 | 38 |
| 完成形 R7～ | 30 | 32 | **35** | **35** | **35** | **35** | 35 | 38 | 38 |

### ⑵　国加配に関する課題

・Ｒ元年度県見直し方針は、従来の「国による加配」が今後も同規模で継続することを前提としたもの

・今回の国制度改正は、基礎定数の見直しに必要な財源をどう確保するか詳細が不明
・財務省では、この基礎定数の財源を確保するために加配定数の一部を削減する方針

・県内の小中学校では、国加配により教員数を確保し、様々な教育課題に対応

・今回の基礎定数の見直し（小２～６）は、本県では従来と同じ３５人学級編制基準のため本県の基礎定数の増減はないが、その財源を確保するために国加配措置が削減された場合には国加配の本県配分も減少し、不可欠な教員の配置に支障が出る懸念がある

| | | Ｒ２年度まで | Ｒ３年度以降 |
|---|---|---|---|
| 学級編制基準 | 国制度 | 学級数等に応じた国の基礎定数 | |
| | | 標準法で規定<br>小学校　１年　　：３５人<br>　　２年～６年：４０人<br>中学校　　４０人 | 標準法の改正<br>小学校　順次全学年３５人<br>中学校　変更なし<br>予算の拡大 |
| | 県単方針 | 県単独の少人数学級編制 | |
| | | Ｒ元年度県見直し方針<br>小学校　３０人、３２人、３８人へ<br>中学校　３５人、３８人へ | 国制度改正を踏まえた変更<br>小学校　３０人、３２人、３５人へ<br>中学校　変更なし |
| 加配措置 | 国制度 | 政策目的に応じた国の加配定数 | |
| | | 毎年度予算措置 | 国の基礎定数の財源を確保するために国の加配定数を削減する方針<br>予算の削減 |
| | 県単方針 | 県単独の課題解決加配 | |
| | | Ｒ元年度見直し方針<br>「課題解決のための県単加配」の新設 | 国の加配定数の削減状況を踏まえた対応を検討<br>→次頁⑶のとおり |

振替

・国の制度改正に伴い必要となる教員定数（基礎定数）は、全国で１３，５７４人

・この財源を確保するために国の加配定数（Ｒ２：５３，４１５人）のうち、どの程度が振り替えられるのか、また、本県の影響がどの程度となるのかは、現時点では不明

### ⑶　国加配の影響を踏まえた県加配等の考え方

㋐「課題解決加配」を「課題解決・制度改正対応加配」に変更し、配置方針を次のとおりとする

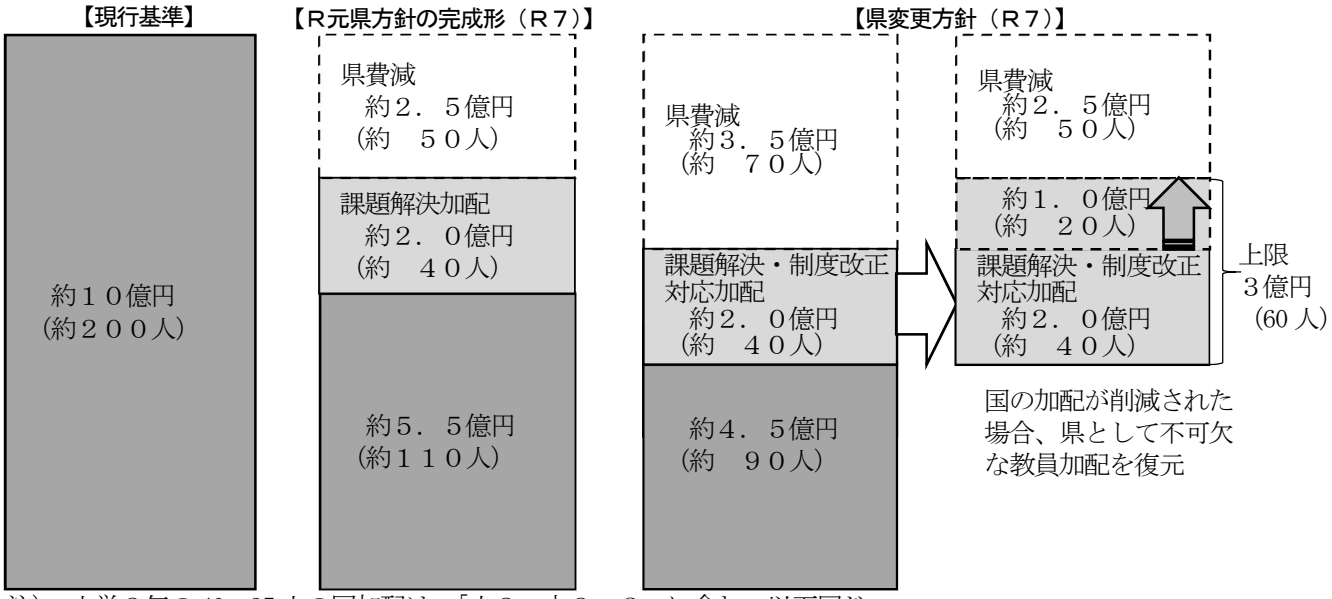
・「県として不可欠な国の加配が削減された場合の復元」と「課題解決のための加配」について、優先度を判断して措置

・この措置に要する予算が２億円で不足する場合は、将来的に２．５億円の財源の捻出を確保したうえで、予算枠を１億円増額（２０人で最大計６０人分）し、対応することを検討

㋑影響緩和　：変更なし（教員数が複数人減となる学校に加配。Ｒ４年度までの措置）

㋒弾力的運用：変更なし（小１、２、中１は学級分割を行わないことも可）

## ３．令和元年度検討時ベースによる推計




注）・小学２年の 40→35 人の国加配は、「小２、中２、３」に含む。以下同じ。
・今回の県変更方針における課題解決加配は、現状と同じ４０人を仮置き

| | | Ｒ２ | Ｒ３ | Ｒ４ | Ｒ５ | Ｒ６ | Ｒ７ | 摘要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ元県見直し方針 | 少人数加配教員 | 202 | 157 | 112 | 112 | 112 | 112 | 想定人数 |
| | 課題解決加配教員 | 0 | 10 | 20 | 40 | 40 | 40 | 計画人数 |
| | 影響緩和加配教員 | 0 | 15 | 30 | 0 | 0 | 0 | 想定人数 |
| | 県負担教員の計 | 202 | 182 | 162 | 152 | 152 | 152 | 50 人の減 |
| 県変更方針 | 少人数加配教員 | 202 | 176 | 163 | 163 | 163 | 163 | 想定人数 |
| | うち新規国費 | 0 | 0 | 18 | 37 | 53 | 74 | |
| | 課題解決・制度改正対応加配教員 ※ | | 10 | 20 | 40 | 40 | 40 | 想定人数 |
| | 影響緩和加配教員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 想定人数 |
| | 県負担教員の計 | 202 | 186 | 165 | 166 | 150 | 129 | |

※国加配の削減状況により、加配人数を上限６０人とすることを検討

| 文教厚生委員会資料 |
| --- |
| 令和３年１月14日 |
| 教育指導課 |

# 令和４年度島根県公立高等学校入学者選抜（令和３年度実施）における推薦選抜等での選抜方法等について

## １　見直しの趣旨

「県立高校魅力化ビジョン」において示したとおり、中学生にとって、いずれの高校を目指すかは、人生で初めて主体的に判断すべき進路選択であり、できるだけ多様な選択肢の中から積極的に選ぶことができるよう環境を整えることが重要である。そのため、各高校において、「求める生徒像」を踏まえた選抜方法の工夫を進め、多様な生徒一人一人を多面的・総合的に評価する入学者選抜方法に改善していくことが必要である。

このことから、現在の中学２年生が受検する令和４年度島根県公立高等学校入学者選抜（令和３年度実施）の推薦選抜・特別選抜・スポーツ特別選抜（以下「推薦選抜等」という。）について、各高校が独自色を出した方法により適正な選抜が行えるよう見直しを図ることとする。

併せて、受検生や保護者、中学校等に対し、見直しの方向性を早期に周知する。

## ２　見直しの方向性

従来の推薦選抜等における学校裁量部分を拡大するとともに、その内容等を明確化する。

## ３　見直しのポイント

以下の点について、各高等学校が定め、各校の募集要項に明記する。

### （１）出願資格・募集定員設定の独自化

・出願資格に成績基準（学習評定平均等）や取得資格（英検等）を盛り込むことを可能とする。

・出願資格毎の募集定員の設定や選抜方法の設定を可能とする。

### （２）出願書類における求める内容の明確化

・各高等学校が独自様式で提出を求める「志望理由書」、「自己申告書」、「課題レポート」等、求める内容を明確化する。

### （３）選抜方法の多様化

・以下に例示する選抜方法を参考に、各高等学校が選抜方法を定める。

【選抜方法の例示】
・面接（個人面接、集団面接）
・集団討論
・プレゼンテーション（英語によるもの等を含む）
・作文・小論文
・実技（体育、音楽、デッサン、作図　等）

| 文教厚生委員会資料 |
|---|
| 令和3年1月14日 |
| 教育指導課 |

# 令和３年３月高校卒業予定者の就職内定状況について（11月末）

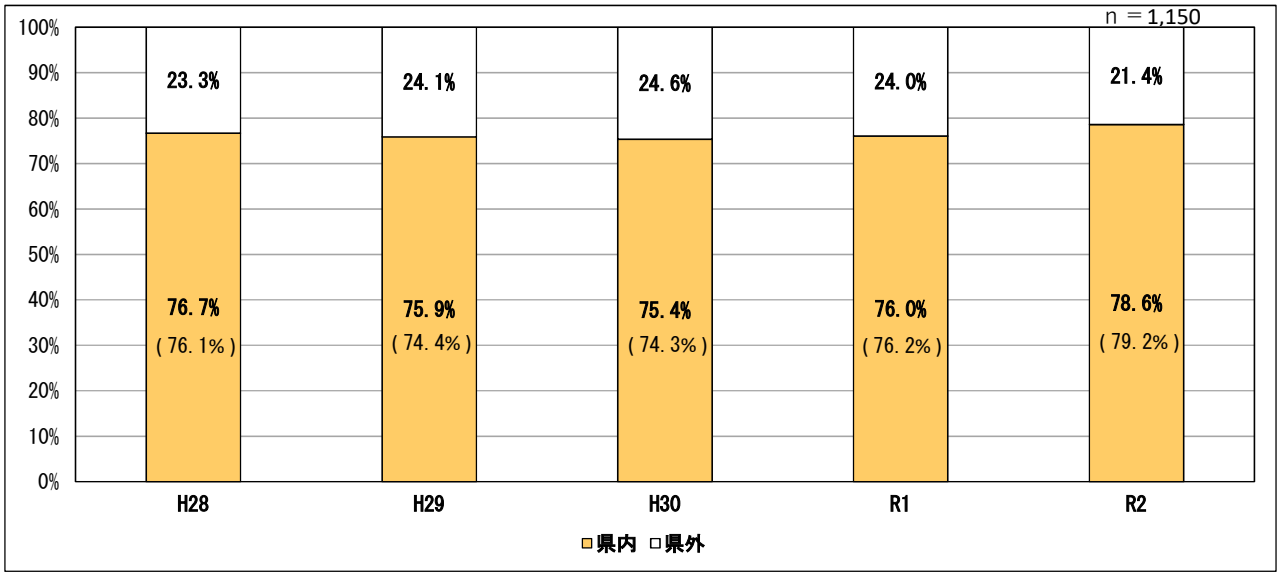
下表の数値については、H28～R元までは10月末のデータ。R2は新型コロナウイルス感染症の影響により、採用選考開始日が例年より1月遅れの10月16日だったため、11月末のデータを掲載。

## １．就職内定状況の年度別推移

※数値は【県立、公立、私立の全日制及び定時制】

| 年度 | 卒業予定者数 | 就職希望者数（人） | | | 就職希望者の割合 | 就職内定者数（人） | | | 内定率 | 就職未内定者数（人） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 県内 | 県外 | 小計 | | 県内 | 県外 | 小計 | 10月末 | 県内 | 県外 | 小計 |
| H28 | 6,073 | 1,073 | 319 | 1,392 | 22.9% | 882 | 268 | 1,150 | 82.6% | 191 | 51 | 242 |
| H29 | 6,069 | 1,087 | 343 | 1,430 | 23.6% | 917 | 291 | 1,208 | 84.5% | 170 | 52 | 222 |
| H30 | 6,081 | 1,062 | 332 | 1,394 | 22.9% | 873 | 285 | 1,158 | 83.1% | 189 | 47 | 236 |
| R1 | 5,982 | 1,134 | 343 | 1,477 | 24.7% | 913 | 288 | 1,201 | 81.3% | 221 | 55 | 276 |
| **R2** | **5,852** | **997** | **280** | **1,277** | **21.8%** | **904** | **246** | **1,150** | **90.1%** | **93** | **34** | **127** |

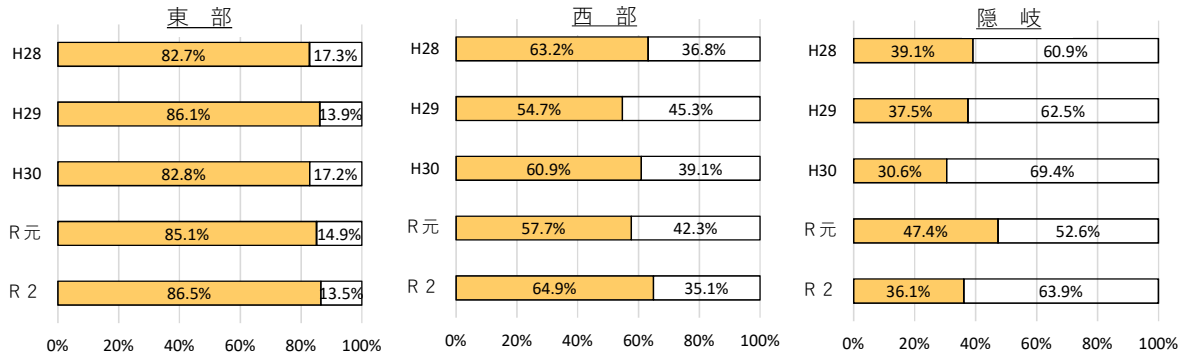
## ２．就職内定者の県内、県外の割合




※（　　）内は県立高校における就職内定者の割合

≪参考資料≫

全高校の地区別県内外の就職内定者の割合　　県内　　県外




※Ｒ２．11就職内定者数　778名　　※Ｒ２．11就職内定者数　336名　　※Ｒ２．11就職内定者数　36名

文教厚生委員会資料
令和3年1月14日
保健体育課

# 中高生の全国スポーツ大会での活躍について

１．中学生

| 大会名 | 種目 | 選手・学校名 | 成績 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 全国中学生陸上競技大会<br>（10月16日～18日／神奈川） | 男子200m | 藤原 琉成<br>（仁多中3年） | ８位 | |

２．高校生

| 大会名 | 種目 | 選手・学校名 | 成績 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 全国高校選抜ホッケー大会<br>（12月23日～25日／岐阜） | 男子 | 横田高校 | ３位 | |
| 全国高校総体テニス代替大会<br>（11月7日～8日／群馬） | 女子ｼﾝｸﾞﾙｽ | 横田 七帆<br>（開星高校3年） | ４位 | |
| 全国U18女子セブンズラグビー大会（10月24日～25日／埼玉） | 女子 | 石見智翠館高校 | ３位 | |
| 全国高校陸上競技大会2020<br>（10月23日～25日／広島） | 女子棒高跳 | 五嶋 美月<br>（大社高校3年） | ８位 | |
| | 男子走高跳 | 鳥屋尾 優介<br>（大社高校3年） | ６位 | |
| 日本ｶﾇｰｽﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｭﾆｱ・ﾕｰｽ小松大会<br>（9月9日～13日／石川）<br>K-1：ｶﾔｯｸｼﾝｸﾞﾙ<br>C-1：ｶﾅﾃﾞｨｱﾝｼﾝｸﾞﾙ | 男子K-1 200m | 小鑓 亮太<br>（島根中央高校２年） | ２位 | |
| | 男子K-1 500m | | ４位 | |
| | 男子K-1 200m | 行田 朋晃<br>（島根中央高校２年） | ３位 | |
| | 男子K-1 500m | | ３位 | |
| | 男子K-1 500m | 齋藤 哲一<br>（島根中央高校２年） | ５位 | |
| | 男子K-1 1000m | | ３位 | |
| | 男子C-1 200m | 山根 くうが<br>（出雲農林高校３年） | ４位 | |
| | 男子C-1 1000m | 土井 翔喜<br>（出雲農林高校２年） | ８位 | |
| | 女子K-1 200m | 松岡 華加<br>（島根中央高校２年） | ５位 | |
| | 女子K-1 500m | | ６位 | |
| 日本カヌースプリント選手権大会<br>（9月9日～13日／石川） | 女子K-1 1000m | 高橋 優花<br>（島根中央高校３年） | ５位 | |
| 全国高校スポーツ射撃競技大会<br>（7月25日～8月25日※通信大会） | 女子ﾋﾞｰﾑﾋﾟｽﾄﾙ | 羽田 向日葵<br>（立正大学淞南高校2年） | 優勝 | |
| | 女子ﾋﾞｰﾑﾋﾟｽﾄﾙ | 廣瀬 天美<br>（立正大学淞南高校2年） | ６位 | |
| | 女子ﾋﾞｰﾑﾋﾟｽﾄﾙ | 吉野 莉菜<br>（立正大学淞南高校1年） | ８位 | |
| | 男子ﾋﾞｰﾑﾋﾟｽﾄﾙ | 佐津間 昌洸<br>（立正大学淞南高校3年） | ８位 | |

（令和2年4月1日以降）

【参考】一般

| 大会名 | 種目 | 選手・所属（出身高）名 | 成績 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ホクレン中長距離チャレンジ<br>（7月18日／北海道） | 男子3000m障害 | 三浦 龍司<br>（順天堂大：浜田東中出） | 優勝 | 8分19秒37<br>（日本歴代2位） |
| セイコーＧＧＰ陸上<br>（8月23日／東京） | 女子400m | 青山 聖佳<br>（大阪成蹊AC：松江商高出） | 優勝 | |
| | 男子棒高跳 | 澤 慎吾<br>（きらぼし銀行：大社高出） | ３位 | |
| 日本学生陸上競技対校選手権大会<br>（9月11日～13日／新潟） | 男子3000m障害 | 三浦 龍司<br>（順天堂大：浜田東中出） | 優勝 | 8分28秒51<br>（大会新） |
| | 男子110m障害 | 勝田 築<br>（早稲田大：開星高出） | ５位 | |
| 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会（9月18日～20日／埼玉） | 女子400m | 青山 聖佳<br>（大阪成蹊AC：松江商高出） | 優勝 | |
| | 女子200m | | ２位 | |
| | 男子棒高跳 | 来間 弘樹<br>（ｽﾄﾗｲﾀﾞｰｽﾞAC：大社高出） | ３位 | |
| | 男子棒高跳 | 澤 慎吾<br>（きらぼし銀行：大社高出） | ４位 | |
| 日本陸上競技選手権大会<br>（10月1日～3日／新潟） | 女子400m | 青山 聖佳<br>（大阪成蹊AC：松江商高出） | 優勝 | |
| | 女子200m | | ６位 | |
| | 男子棒高跳 | 来間 弘樹<br>（ｽﾄﾗｲﾀﾞｰｽﾞAC：大社高出） | 優勝 | |
| | 男子棒高跳 | 澤 慎吾<br>（きらぼし銀行：大社高出） | ４位 | |
| 田島直人記念陸上競技大会<br>（10月18日／山口） | 女子300m | 青山 聖佳<br>（大阪成蹊AC：松江商高出） | 優勝 | 37秒08<br>（日本新） |
| U20全国陸上競技大会<br>（10月23日～25日／広島） | 女子100m障害 | 長崎 さゆり<br>（青山学院大：大社高出） | ３位 | |
| 木南道孝記念陸上競技大会<br>（10月24日／大阪） | 女子400m | 青山 聖佳<br>（大阪成蹊AC：松江商高出） | 優勝 | |
| 日本選手権水泳競技大会飛込競技<br>（9月25日～27日／新潟） | 男子3m板飛込 | 須山 晴貴<br>（島根大） | ４位 | |
| 全日本大学選手権大会ボート競技<br>（10月22日～25日／埼玉） | 男子シングルスカル(2000m) | 小野田 空羽<br>（松江高専４年） | ３位 | |
| 日本カヌースプリント選手権大会<br>（9月9日～13日／石川）<br>K-1：ｶﾔｯｸｼﾝｸﾞﾙ<br>C-1：ｶﾅﾃﾞｨｱﾝｼﾝｸﾞﾙ | 男子C-1 200m | 石原 起人<br>（大正大：出雲農林高出） | ７位 | |
| | 女子K-1 200m | 原 綾海<br>（武庫川女子大:出雲農林高出） | ６位 | |
| | 女子K-1 500m | | ３位 | |

（令和2年4月1日以降）